

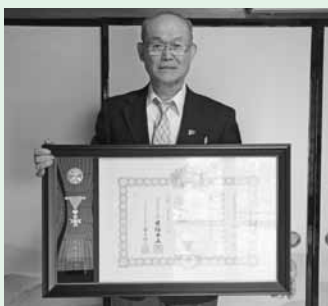
春の叙勲 受賞おめでとうございます



旭日双光章 井上 晃さん(横田)

井上さんは、昭和34年長崎大学を卒業後、長崎大学病理学教室、広島大学原爆放射能医学研究所、長崎大学原爆放射能医学研究所助手、講師を経て、長崎市立市民病院内科医長、部長として勤務。昭和54年に井上医院を継承し、これまでに仁多郡医師会の理事、副会長、雲南地区医師会の理事、そして島根県医師会の理事として医師会の発展、医学の振興に注力されました。

また、地域住民の相談役として日夜いとわず対応し、地域医療、学校保健、国民健康保険の推進に寄与されています。



端宝単光章 田村 久夫さん(横田)

田村さんは、昭和47年に旧横田町消防団に入団し、平成9年に横田分団長、平成11年に消防団本部付、平成13年5月からは副団長に就任されました。

平成17年3月には、旧仁多町消防団と旧横田町消防団の統合に尽力し、奥出雲町消防団においては統括副団長を務められ、退団までの2年間は奥出雲町消防団の要職にありました。

通算34年10ヶ月の間、消防の使命遂行に心魂を傾け、地域における消防の発展に尽瘁されました。



子育て応援リユース事業の開催

6月4日、三成幼稚園で子育て応援リユース事業が行われました。この事業は、家庭で使わなくなった子育て用品等を提供してもらい、これから子育てをする家族へ譲り、再利用いただく取り組みです。

この日は、家庭に眠っていた子ども服や絵本、室内遊具などが多数集まり、子育て中の家族が必要なものを譲り受けていました。

また、会場では人形劇の公演があったり、カフェも設置されたりして、家族で楽しむ姿や交流する姿がみられました。

町ではこの事業を通して、子育て用品が各世代をつなぐように、まごころをつなぎ、同時に子育て家族のコミュニティの輪を広げるきっかけになればと期待しています。

今回は、横田幼稚園で開催する予定です。詳細は、子育て応援情報サイト「ママフレ奥出雲」や町内で配布されるチラシで確認してください。

▼ママフレ奥出雲
<http://okuzumo-town.mamafre.jp/>

一味同心塾

田植え交流会

今年で15回目となる田植え交流会が5月30日、阿井地区の一味同心塾前の水田にて行われ、町内外から約100人が参加しました。

この交流会は、「米づくり実行委員会」主催で、田植えを通して都市住民との交流や食の安全について考えようと開催されています。はじめに神事が行われ、田の神「サンバイさん」に豊作を祈願しました。その後、内谷田植え離子保存会による華やかな田植え離子が披露されました。

続いて、参加者が地元の方の指



一味同心塾 中村成子館長

導を受けてから水田に入り、手植えに挑戦しました。泥に足をとられながらも着実に植えていき、あっという間に田植えを終わらせました。今年も島根リハビリテーション学院の1年生が参加し、賑やかな雰囲気の中で交流を深めました。

今後は水田管理を行い、秋には稲刈りの交流体験が行われる予定です。



奥出雲町ならではの子育ての取り組み

もっともっと子育てがしやすい町になるよう、様々な取り組みをしています。

1 保育所を経営基盤とし、幼稚園教育の良さを活かした幼保一体化施設「幼稚園」。

多様化する保育ニーズに応えるための幼保一体化施設である幼稚園を全町に整備しています。これにより、発達年齢に応じた一貫した方針に基づく教育・保育が可能となります。また、異年齢児と一緒に過ごすことで得られる教育効果もあり、子どもたちの成長にも預ける側にもメリットのある施設です。

詳しくはこちらをcheck!

2 嬉しい出産祝い金

出生されたお子様1人につき、町内で使用できる期限付商品券10万円分を贈呈します。

3 第2子・第3子の保育料を軽減します。

幼稚園に入園している家庭に、保育料や給食費等様々な軽減をしています。詳細は、子育て支援課にお問い合わせください。

※その他にも子育てに役立つ様々な施策があります。詳細は子育て支援課(52-2206)にお問い合わせください。